

平成30年度西富士宮幼稚園学校評価

自己評価実施日 平成31年2月8日

学校評価委員評価実施日 平成31年3月1日

1 幼稚園の教育目標

「独り立ちする子」をめざして 「一人一人が輝く子ども」

1 思いやる心 2 丈夫な体 3 考える力を目標に掲げ社会性のある子を目指します。

2 重点目標

- ・ 基本的な生活習慣を定着させるべく、挨拶、返事、後始末ののできる子を目指します。
- ・ 自分からやろうとする子供の姿を求めて
- ・ 研修主題*全身を使った音楽活動(ボディーパーカッション)を通して豊かに自己を表現する子供の育成*

3 評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

- ※結果の表示方法
- A 十分に成果があった
 - B 成果があった
 - C 少し成果があった
 - D 成果がなかった

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	反省と改善点	評価点	意見
1	保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育要領への理解をもっと深めていきたい。子ども達の生活が豊かになるような行事をこれからも増やしていきたいと思う。 ・子どもを取り巻く環境、保護者が幼稚園に求めることの変化などをいろいろな方面から感じる一年だった。行事等全職員で反省を行い次に行かせていると思う。 ・日頃の保育の中で常に密な計画、そして反省をし次の活動内容の改善へ繋げていくことが大切である。 ・新教育要領に関して、研修会の時は行いが、自ら見返すことがあまり出来なかったので、保育を進めるうえで教育の目的を知る為にもっと学ぶ努力をしたい。 ・これからも子ども達一人一人に合った保育を計画していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が楽しめる行事が沢山ありましたが天候や周りの状況に対して先生方が臨機応変に対応されていて常に安全確保のもとその場その場で子ども達が安心して行動できるように配慮されていたと思います。 ・教育目標に向かい日々努力している姿が伝わっております。
2	保育の在り方 幼児の対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での足りない所を補いながら日々過ごせたと思う。一園一学級という考えのもと、クラスの壁を取り外し子ども達の理解を深める為情報の共有を心掛けた。これからもどの子へも配慮をしより良い成長への手助けをしていきたい。 ・日々の他の先生との会話でいろいろな方向から子どもの成長や一面を見ることが出来ている感じる。海外の子どもも入園が増え言葉がけも慎重に行った。 ・園の行事を成功させる為に意見を出し合ったり子どもへの対応など先生方の助言で学ぶことが沢山あった。 ・子どもの遊びのアイデアを自由遊び等で取り入れているがそのアイデアを広めることがまだ足りていないと感じた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人を園全体で共有出来ていて先生方の連携が良くとれていたと思います。 ・先生と子ども達の笑顔に信頼感が現れていると思います。 ・園庭から聞こえてくる先生同士の掛け合いが上手にできている。 ・子ども達が自分から進んでやろうとする姿が素晴らしい。

		<p>・どのクラスの子に対しても積極的に関わり対応していきたい。</p>	
3	教師としての 資質・能力 良識・適正	<p>B</p> <p>・子どもの良い見本となるよう教師としての自覚を持った言動を心掛けた。大きな行事には子ども達と一緒に楽しく目標を持って取り組むことが出来たと思う。教師みんなでより良い園にしようとして今年度も取り組むことが出来た。</p> <p>・行事の前など声が出なくなってしまうことが多かったので、体調管理にも注意したい。</p> <p>・報告、連絡、相談はとても大切な事なので、常日頃から意識し忙しい時でも行うことが大切なので気を付けていきたい。保育の楽しみ、達成感を感じる場面が沢山あった。</p> <p>・手遊びや絵本、紙芝居など様々なジャンルの物にもっと挑戦していきたい。担当になった行事で企画がなかなかうまくいかず反省が多かったので、アドバイスを頂いた事を次に生かせるようにしたい。</p>	<p>A</p> <p>・先生方は子ども達と明るく元気に接してくださっていると思います。声も良く通り子ども達にも分かりやすい説明、指導がされていたと思います。</p> <p>・行事を進めるうえで保護者との相談等でもう少し先生方と密に話をして進められたら良かったと思いました。</p>
4	保護者への対応	<p>B</p> <p>・アレルギー対応への難しさを改めて痛感した。今後の課題にも繋がり日々学んでいきたい。</p> <p>・日々の生活で行事等で忙しくなると保護者からの伝言を伝えることが遅くなってしまうことがあったので気を付けていきたい。メモ帳を常に持つ事を忘れないようにする。</p> <p>・今年からインスタグラムなどを利用し幼稚園の情報を発信できていると思う。園の保護者に向けて、園外の一般の方に向けての区別をし個人情報の管理を気を付けていきたい。</p> <p>・子ども達の為に園児、家庭、幼稚園のトライアングルを大切にしていくことはもちろんだが、学校教育課や、こあら（療育支援センター）などと連携を取り就学に向けていくことが大切だと思う。</p> <p>・日々の生活の中で他の先生方に保護者からの報告や連絡を忘れてしまったり後回しにしてしまうことがあったので、メモを取るすぐに言う等、報告を忘れないように気を付けていきたい。</p> <p>・保護者からの要望にきちんと応えられない事があったので頑張っていきたい。</p>	<p>B</p> <p>・アレルギーは個人個人違い対応も大変だと思います。そしてその子の親の考え方もいろいろあるので先生方はもっと大変だと思います。</p> <p>・保護者と先生方で子どもの情報を共有するのはとても大変な事だと思います。保護者も伝えるのも忘れてしまったり先生と話ず機会が持てなかったりしますが、時々電話を頂いたりして子どもの様子を教えて頂けることがありとてもありがたいです。</p>
5	地域の自然や 社会との関わり	<p>B</p> <p>・地域の方たちと親しく挨拶を交わすことが出来た。未入園児なかよし広場を通して地域のお母様たちと交流が出来た。卒園児の卒園後の情報をなるべく得る様に心掛けた。</p> <p>・卒園児のいる小学校とは連携が取れているが他の小学校とはなかなか取れないこともあり気になることもある。</p> <p>・卒園児がいる小学校とは運動会で卒園児や保護者の方と会い成長した姿や情報交換が出来るので参観等は続けて行きたい。</p> <p>・幼少連携、地域との関わりは、日々子ども達の教育をしていくうえで大切な事なので一つ一つの行事を大切に組み込んでいきたい。</p> <p>・未入園児なかよし広場での園庭開放に来てくださる保護者の方は一人で来てくださる方もいるので話しやすい環境を作っていきたい。子ども達も楽しいと思ってもらえるように頑張りたい。</p>	<p>A</p> <p>・地域との繋がりを深めることは大切な事で子育ての安心感が得られると思います。</p> <p>・先生方が大きな声で挨拶をされていて子ども達もそれに対応して挨拶ができていたと思う。</p> <p>・先生方が一人一人に声を掛けて丁寧に対応されていると思いました。</p> <p>・卒園児も先生方にいつまでも親しみを持っている。</p> <p>・地区の回覧板で幼稚園の様子を写真やお便りで見れるようになりとても良いと思う。近隣の班に年度の始めに行事報告があると園への親しみがわく。</p>

6	研修と研究	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作物の内容がマンネリ化してしまうことがあるので教材研究を深め新しいことも取り入れていきたい。 ・新教育要領についての研修にもっと参加してもっと幼稚園教育の指導力を深めたい。 ・今年は免許更新があり研修に参加したくさんの事を学ぶことが出来た。 ・市内の研修会にも参加することが増え園以外からの情報も学ぶことが出来た（作業療法士・言語聴覚士等）今後子どもの指導に役立てていきたい。 ・スキルアップ出来る様に様々な研修に参加し学び情報収集にも努めていきたい。 ・子どもの発達に関する勉強をして一人一人に合った声掛けや指導が出来る様にしていきたい。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代は今まで以上に一人一人の子どもに合った対応を求められると思います。先生方の知識や情報収集を保護者にも教えて頂いたり子どもの良い所を家庭でも伸ばせるような指導も頂けるとありがたいと思います。
---	-------	--	---

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人が輝く子ども」を目標に個性を大切に作る保育を通し、自分からやろうとする子は達成できたと思う。 ・研修主題のボディーパーカッションを通して、教師や友達と共有し表現する充実感を味わうことにより自己を表現する意欲が育まれはじめてきた。今後も教師がいろいろな工夫や考えを取り入れて環境を構成していき、子ども達が今まで以上に達成感や満足感、充実感を感じ表現する力を豊かにしていきたい。 ・幼稚園は「初めての学校・教育をする場」であることを基本に新しい発想を取り入れ更に資質の向上に努力していきたい。 ・保護者や近隣の方々とのコミュニケーション、そして幼少連携を通して子育ての為の関係づくりを深めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との関わり	幼少連携・回覧板による情報公開・情報の収集・地域内の施設訪問をし交流を深める 地域行事への参加
自己啓発	指導計画の見直しと、報告・連絡・相談を密に保育の営みを連携しながら更に向上させたい
基本的な生活習慣	家庭、地域、幼少等、連携を密にして実践する

6 学校関係者評価委員会からのコメント

<ol style="list-style-type: none"> 1 一人一人が輝く子ども…目標通り本当に誰一人萎縮している子がいない、今日は元気いっぱいの子どもと過ごせて元気をもらえました。 2 子どもを第一に考え一人一人の指導をその時々に合わせて臨機応変に丁寧にしてきている。 3 幼稚園の近くの託児所にお迎えに来てくれる先生方の笑顔と元気な挨拶を聞いて西富士宮幼稚園に入園させたいと思いました。近くに他の幼稚園がありましたが子どもの事を考えいろいろな気配りをして下さる園に入園させて本当に良かったです。感謝しております。 4 幼児教育も環境が目まぐるしく変わるこの時代、“園児募集の看板”昔はなかった。少子化を感じますが、子どもが少ない中で子ども達を育てていくことは難しいけれど、園児一人一人に寄り添い丁寧に見ている西富士宮幼稚園は素晴らしいと思います。是非頑張ってほしい。 5 安心して頑張れる幼稚園…そんな日々が子ども達の大きな成長につながる事だと思います。それぞれの個性に真剣に向き合う姿勢が自己肯定感を育てこれからの人生の大きな財産になると思います。

- 6 社会の変わり目、子育てをする環境も変わってきている時だが、基本的には変わっていないはず。思春期になり荒れてしまう子もいるが幼児期（生まれてから就学前）に愛された子は何かあっても立ち直る力を持っている。西富士宮幼稚園の教育には愛があります。
- 7 いろいろな行事でこんなに卒園児が集まる園は珍しい。幼稚園が大好きなのだと思います。
- 8 子どもが大きくなり子育てをしていく中で、いろいろな人の話を聞くが、体を動かす子と音楽をやっている子は間違いないと本で読んだ。西富士宮幼稚園での生活はその部分が伝統となり根っことなり今凄い力になっていると思う。
- 9 園庭のスウェーデン製の遊具、通称「マンモスくん」で養われた体力、毎朝のマラソン有難かった
- 10 乱暴な部分があった子でしたが、日々の教育の中で、お年寄りを大切にすることをいろいろな行事を通して教えて下さり、人を敬う事や感謝することを教えてくれ、子どもが変わっていった。本当に感謝です。
- 11 小学校になってからも元気パワーが欲しいと思った時は幼稚園に伺っています。先生方はお忙しい中でもいつも優しく温かく迎えてくださいます。感謝の気持ちでいっぱいです。
- 12 幼稚園教育の制度が変わり子どもの数が少なくなっている現在大変な事も多々あるかと思いますが、保育時間以外にも業務が増えて先生方の負担が大きくなり過ぎないかが心配です。
- 13 子ども達のキラキラ輝く笑顔と元気で明るい先生方65年目を迎える西富士宮幼稚園。これからも誇りを持って、頑張ってください。
- 14 卒園した娘達もこの春中学生になります、幼稚園での毎日もついこの前の様な感じです。“一園一学級”で一人一人をきめ細かく見守っていただいたおかげで娘たち自身が自分に自信を持ち頑張っているのだと感じます。
- 15 子どもが卒園しても仲良くなった保護者の方々と今も交流が続いております。私にとっては大きな宝物になっております。子どもも親も何時でも帰ってこられる場所であり続けてほしいと思います。
- 16 幼稚園は四季折々の行事を子ども達に先生方が教えて下さいます、先生がその月の主たる行事に子ども達と一緒に触れて学びの場を設けることにより、子ども達の総合的な学習にもつながると思います。今日3月の誕生会は年度最後の月ですが今年も忘れてはいけない東日本大震災のお話を子ども達にも分かりやすくして下さい本当に感心致しました。
- 17 親から初めて離れて過ごす団体生活（初めての学校＝幼稚園）の中で、子どもなりに優しさも厳しさも体験し自立に向けて成長していく様、保護者の子育ての考え方もいろいろあるのでご指導大変だと思いますが、頑張ってください。
- 18 時代は変わっても子どもは変わらない、ただ時代の流れで少しずつ親の考え方も変わってきていると思いますが西富士宮幼稚園の親はみんな可愛いママやパパばかりだと思います。いろいろな行事での協力が素晴らしいです。
- 19 西富士宮幼稚園は小さな園ではありますが、子供にとって何が一番大切かを常に意識して取り組んでいると思います。先生方の配慮もきめ細やかで本当にありがたいです。今後は子供の事だけでなく保護者からの要望にも対応が多くなっていくかと思っています。国の子育て支援の考え方もあり働く保護者も増え預かり保育等の対応もありますが今までと変わらず先生方のきめ細やかな指導、対応をお願い致します。
- 20 子供達が成長していく課程になっていくのが三つの目標「思いやる心・丈夫な体・考える力」決して変えることなく幼稚園の指標とし、この時代だからこそ先生方が自信を持って愛のある温かい指導を頑張ってください。

